

日本農業新聞

一押し品種 メーカーPR

大田市場で見本市

種苗会社や卸売会社でつくる青果育種研究会は4団、品種見本市を東京都中央卸売市場大田市場で開いた。種苗会社13社が、野菜や果実の一押し品種を仲卸など流通関係者にアピール。食べ切りサイズや簡便性、優れた耐

暑気など現代のニーズを捉えた特長を持つ品種が多く並んだ。

タキイ種苗は、新品

種のミニトマト「千恋」を試食も活用しながら紹介。「タなし」での収穫・流通が可能な特長を持ち、生産者の労力軽減、消費者の簡便ニーズへの対応をPRした。

丸種は「ミニ野菜」を提案。単身世帯の増加で需要が高まる食べ

切りサイズのキャベツやダイコンを展示した。「スーパーからもカット作業が省ける点や、鮮度を維持できる点で評価を得ている」(同社)という。